

第1回委員会意見と対応事項

	意見	対応(案)	備考
現計画の評価について			
1	きちんと前計画を評価しているので、今回の計画で何をやらなければいけないか明確になっている。時代の流れと長岡市の計画は歩調が合っていて、ハード整備は、骨格的に概ねできているので、既存のストックをどううまく使いこなすかということを議論するべきだと考えている。	今後、アンケートの整理やプローブ旅行速度調査等を含めてネットワークの使い方を整理し、自転車走行空間を含めてニーズと整合した各区間の道路機能を実現するよう検討。	現道路計画の見直し検討(H26)までに実施
2	高速道路の朝夕割引やスマートICができたことで、今まで高速に乗らなかった人が高速道路へ転換しているという影響はないか。トータルの交通量は変わっていないのか、高速道路の影響があるのかなどで、書きぶりが変わってくると思う。	今後、高速への転換を含めて交通量等の変化を整理。	次回委員会までに実施
3	全体の交通量も減っているので、その点も含めて検証していただければと思う。	全国及び新潟県の平均交通量の推移(減少)を含めて整理	次回委員会までに実施
交通状況等の現状と課題について			
4	資料に交通事故に関連している内容がない。交通安全はひとつの大きな視点であるので、入れていただきたい。	交通安全対策の検討の前段として交通事故の現況を整理	交通安全対策の検討(H25)までに実施
5	中心市街地の変遷の図は、市街地の拡散が顕著に現れている。これに関連し通勤・通学時の交通手段の分担率を、年代(時代)別に集計し、重ねて検証することで、関連が見えてくると思われるので、もしデータがあれば、分析してほしい。	交通手段の分担率について、市街地の変遷に併せて年代別に整理、関連性を考察	次回委員会までに実施
6	「長岡都市圏の通勤流動」や「長岡都市圏の通学流動」、「買い回り品に関する買い物流動」についても年代別(全てではなく、一つ前の国勢調査結果や10年前のデータ等)があるといいと思う。	データの有無を確認の上、上記と同様に整理	次回委員会までに実施
アンケート票について			
7	質問の中に車の所有の有無がないが、車を持っている人だけを対象にしているのか。車を持っていない人は行動が制約されると思うが、そのあたりは気にせず行う方向性でよいか。	アンケート項目に車保有の有無を追加	対応済

8	<p>アンケート用紙のクルマ利用の意識に関する設問が、キャリアオーバー効果のある、どちらかというマイカーを使わない方向に回答しないといけないような設計がされていて、回答にバイアスがかかると感じる。回答結果をそのまま真に受け、クルマからの転換の意識が高いので大丈夫だというようことで施策に展開すると、うまくいかない可能性がある。このアンケートに意識付けという目的があるのは重々承知しているが、結果だけが一人歩きしないようにしないようにするとともに、データだけで論じてボタンのかけ違いが生じないように、注意する必要がある。</p> <p>アンケートのキャリアオーバー効果について言及していたが、私も非常に危惧をしている。冒頭に「環境にやさしい行動を考え」という一文があったが、このアンケートの位置づけが事前調査だとしたら書かないほうがよい。4 ページ目にも同様な表記があったが、事前調査ならニュートラルにできるだけバイアスがかからないようにしたほうが良いのではないかと思う。</p>	<p>キャリアオーバー効果が懸念される表現（「健康や環境にあまりよくありません」など）を削除</p> <p>また、結果が無条件に一人歩きしないよう、取り扱いに注意</p>	対応済
円滑化計画の内容について			
9	<p>組み込んで頂けるかわからないが、二次交通が見直されてしかるべきだと思っている。高齢者の免許返納のシステムを作って、大いにバスやタクシーに乗ってもらいたい。バスと比べてタクシーは割高なので、割り勘タクシー・乗り合いなど安く利用できるような新しいシステムを作り、免許を返納しても便利な社会をつくっていく必要がある。ドア to ドアでオンデマンド・オンサプライという考えを取り入れ、バスや鉄道と違う公共交通として考えていく必要がある。また、来年のデスティネーションキャンペーンでは車のニーズが必ずあがるので、ソフトの対策も織り込むようにしてほしい。</p> <p>日ごろケアマネージャーをしている中で高齢者に接していると、現状では、公共交通を利用している方は 1/3 程度と少なく、ほとんどの方がマイカーやタクシーを</p>	<p>今年度、高齢者に対するヒアリング調査も計画しており、その中で出てきた意見等も勘案して、デマンド型の新たな交通システム等も検討</p>	ソフト施策による交通円滑化対策(H26)において検討

	利用している。色々問題があるとは思いますが、高齢者の方がうまく移動できる手段が、もう少し充実すればよいと思う。		
10	高校時代、通学にバスを利用していた。冬期はバスの遅れがひどく、1限目は授業にならないほど集まりが悪かった。先ほどの資料でバス利用者が減少しているので対応を考えるとあったが、冬期間のバスの対策でこういった対応がされるのか期待している。	アンケート調査において夏期と冬期の違いについても質問しており、その結果等を勘案してバス等の公共交通の利用促進策を検討	ソフト施策による交通円滑化対策(H26)において検討
11	長岡市は、柏崎原発から30km圏内に入っている。緊急避難になった場合、日中勤務先にいる人々が何を手段としてどう退避するのか、自宅に残った人たちはどうするのか、あるいは休日・夜間にどこをどういうルートで避難するのか、いずれどこかでデータを押さえておかないと、万が一の際にとんでもない混乱が生じる可能性がある。本題と違うので、別のアンケートを取るべきだとは思いますが、どうせなら一緒にやれないかと考えており、市の中で検討してみてもどうか。 委員長の言及した防災計画について、市役所は総合的な行政ができる権限を持っているので、防災計画と交通計画を一緒にできればよいのではないかと。	今回のアンケートは日常の通勤通学の交通実態を対象としているため、非常時の避難計画については対応困難 市の防災部局と協議のうち、計画段階での避難計画との整合について今後検討	新交通円滑化計画の検討(H26)において整理